第 98 回定時株主総会質疑応答

- 質問者：９名
- 質問数：９問

質問１
地方競馬における売得金が増加している中、大井競馬も増収になっていると考えるが、オートレースも含めて当社としての収入との関係について知りたい。
回答１【議長の指名により公営競技事業を担当する山手常務より回答】
当社は大井競馬場および伊勢崎オートレース場を所有し、各公営競技における売得金（売上）の一定料率を主催者より賃貸料として得ているため、売得金が増加すれば当社も増収となる。

質問２
当社グループの中長期的な経営計画が知りたい。
回答２【議長の指名により企画部門を担当する伊藤常務より回答】
現在は第 3 次中期経営計画に基づき事業を推進しており、来年は大井競馬場第 3 駐車場開発計画における商業施設およびミュージカル劇場のオープン、千葉県習志野市茜浜 2 号倉庫の稼働、東京サマーランドの新プール誕生を予定しており、この 3 つの新規施設を中心に事業計画を推進していく。

質問３
決算状況に対して株価が低迷していると感じるので、配当を増やすなど株主還元の充実を通じて株価の向上に取り組んでほしい。
回答３【議長の指名により総務部門を担当する猪口常務より回答】
配当については毎年の業績等に応じて適宜増配等を行っており、今期の配当は本総会決議により年間 75 円となる。 株価については市場全体が低迷している状況であり、当社グループでは今後も業績の向上を第一と考え、IR の充実や SDGs への取り組みを通じて、株価を向上していければと考えている。

質問４
損益計算書における特別利益について、投資有価証券の売却と補助金収入の内容が知りたい。
回答４【議長の指名により財務部門を担当する伊藤常務より回答】
投資有価証券の売却については当社保有の株式が TOB されたことに伴う売却益であり、補助金収入については競馬活性化補助事業の補助金で当社の競馬施設の整備投資に関するものである。特別損失については、SPAT4 システムのリプレースを 1 年半前倒したことによる前システムの固定資産除却損である。

質問５
2021 年 10 月の大井競馬場で実施された東京メガイルミのコスプレイベントが非常に良かったので、今後もそのようなイベントを実施してほしい。
回答５【議長の指名により公営競技事業を担当する山手常務より回答】
大井競馬場では、競馬開催日以外における施設の有効活用を目的にイベント等への貸出も行っており、今後も機会があれば実施していきたいと考えている。

質問６
配当政策について知りたい。
回答６【議長の指名により総務部門を担当する猪口常務より回答】
配当金については、配当性向 20～30%を基準として配当金額の検討を行っている。

質問７
大井競馬場や SPAT4 等コンテンツの海外展開は考えているか。
回答７【議長の指名により公営競技事業を担当する山手常務より回答】
当社としては、現状の国内展開での事業に注力していければと考えている。

質問８
株主優待として場内で使えるプリペイドカードの導入なども良いと思うが、株価対策の考えが知りたい。
回答８【議長の指名により総務部門を担当する猪口常務より回答】
当社は、業績の向上が株価への向上に繋がるという認識のもと各事業を推進した結果、2022 年は過去最高益となった。しかしながら、株価は当社の業績のみでは向上せず、現在は当社に限らず多くの上場企業において株価が低迷している状況である。今後も株価向上のためにも業績向上に引き続き取り組んでいく所存である。 プリペイドカードの優待については、大井競馬場で使用可能なサービスが限られていることに加え、当社の施設賃貸会社という立場では独自の判断では難しいところなのでご理解いただきたい。

質問９
グループ会社である㈱ｅパドックの経営状況や事業内容が知りたい。
回答９【議長の指名により公営競技事業を担当する山手常務より回答】
㈱ｅパドック単体での売上等についてはお答えできないが、SPAT4 の売上が堅調に推移する中、他の公営競技およびネット事業者との競争が激化しており、更なる発展と強化を進めるべく 2022 年４月に設立した。 ㈱ｅパドックでは、システム管理における意思決定の迅速化およびシステムエンジニアを中心とした推進体制の強化、また DX への対応等を通じて、安定したシステム環境や魅力的な各種コンテンツをファンの皆様に提供できるよう努めていく。